

施策番号	施策名	基本目標	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり		
			政策名 自然と調和した持続可能な生活環境の整備・保全		
4-3-1	主管課	環境土木課	課長名	橋本 直樹	内線 411
	施策関係課	都市経営課			

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果
本町の豊かで美しい自然環境の保全と循環型社会に向けたエネルギーの有効活用をすすめます。		町民・町内の自然環境		・環境への負荷を低減し、自然環境と景観を保全する				町民が住みやすい快適な生活環境を保全する
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 芽室町の景観に満足している町民の割合	住民意識調査	%	97.0	86.6	88.3	91.7	95.0以上	
② 芽室町の自然環境(空気・水・土壌など)に満足している町民の割合	住民意識調査	%	97.2	92.1	93.2	94.1	95.0以上	
③ 公共サインの整備状況	都市経営課(旧建設都市整備課)	か所	34	74	74	77	119	
④								
成果指標設定の考え方		①美しい景観を維持するための成果指標とし、高水準の住民満足度を維持していく目標値を設定。(※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ②恵まれた自然環境を保全し次世代に受け継ぐための成果指標とし、高水準の住民満足度を維持していく目標値を設定。(※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ③公共サインによる景観形成のための成果指標とし、「芽室町公共サイン整備計画」に基づく目標値を設定。						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	10,452	13,795	6,402
人工数(業務量)	0.5277	0.5058	0.3542

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標①②は策定時より低下 →特段の理由なし 成果指標③は向上 →計画的に整備を進めている
②2022年度の目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①②豊かな自然環境という認識はあっても、一部でごみの散乱や空き地の雑草が伸びているなど、景観を損ねる要因があり、それらに対するきめ細かな対応により、目標達成は見込める。 ③公共サインについては、「芽室町公共サイン整備計画」に基づく整備を進めるが、一部警察協議により設置不可(信号機設置)となったため、目標は達成できない。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	クリーンめむろ大作戦事業 都市景観啓発・普及事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・環境調査では、大気汚染や河川水質などの項目について、環境基準を満たしているかの調査を実施した。河川水質において一部、環境基準に満たない項目もあるが、概ね例年と大差はなく、環境基準を満たしている。 ・広報誌(エコナビ通信)に、野焼き禁止やペットの飼育マナー等について掲載し、快適な生活環境の維持に向け周知・啓発を行った。 ・公共サインの整備は、年次計画どおりに進めていたが、一部住所表記の誘導サイン(信号機設置)については、警察との協議で統一したデザイン(緑・茶)での設置は不可となった。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

	A	B	C	D	E
進捗結果			○		

※該当に○印

- A:実現した
 B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
 C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した
 D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
 E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>《施策を取り巻く状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高山脈襟裳国定公園の国立公園指定に向け、本町を含む実行委を立ち上げ、地元の機運を高める。 ・国は温室効果ガスの排出を2050年までにゼロにするカーボンニュートラルを表明した。 <p>《今後の予測》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高襟裳エリアのPR事業の展開により、自然環境や景観の魅力を再認識する契機となる。 ・地球温暖化による気候変動など、再生可能エネルギー活用の重要性は増している。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの地産地消により持続可能なまちづくりを望む。

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<p>●環境美化活動の推進(クリーンめむろ大作戦推進事業、環境審議会運営事業)</p> <p>地域や各団体で取組む道路・公園等のごみ拾いや清掃活動、花苗植栽活動等を支援・推進するとともに、空闲地所有者への草刈り等の環境整備を促すなど、美しい景観づくりを推進する。また、「一般廃棄物処理基本計画」(令和3年3月策定)に基づき、ごみ減量化・資源化に取り組む。</p> <p>●公共サイン整備(都市景観啓発・普及事業)</p> <p>公共サインの住所表記の誘導サインは完了し、今後においては、公共施設名表記の誘導サインの整備を進める。</p>
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

		A	B	C	D	E
評価	成果指標からの判断は難しいが、公共サインの整備は計画どおりに進んでいることから前進したと評価する。	進捗結果		○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した				

7. 総合計画審議会(外部評価)

		A	B	C	D	E
評価	公共サインの設置などから、「C前進した」と評価する。	進捗結果		○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や各団体で取組む道路・公園等のごみ拾いや清掃活動、花苗植栽活動等を支援するとあるので、大いに期待します。 	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した				